



令和2年度施政方針要旨・当初予算

特集

活力と魅力に満ちた綾瀬へ

古塩市長は、2月25日に行われた定例市議会で令和2年度の市政に対する所信の一端と主要施策を示しました。施政方針の全文は、市ホームページや市役所2階情報公開コーナーで閲覧できます。

※本文と表中に記載の数値は、表示単位未満を四捨五入しています

施政方針については企画課☎70・5635、当初予算については財政課☎70・5601

<施政方針要旨>



少子高齢化や人口減少社会の中で、持続可能な都市として発展していくため、「活力と魅力に満ちた綾瀬」の実現に向けた取り組みを実施します。

財政を取りまく環境が厳しくなり、安定的な行政サービスの維持が困難な時代が差し迫る中、「5つの政策」を柱として市全体で効果的な予算の配分と最適な手法について議論を尽くし、厳選した予算を編成しました。

令和2年度における思いを表す言葉として「共」を選び、誰もが、健やかに安心して暮らせるまちづくりを目指すため、市民の皆様と一緒に考え、行動する「共同作品」として進めてまいります。

①都市づくり

(仮称)綾瀬スマートインターチェンジを最大限に生かすまちづくりを進め、周辺地区における交通環境整備のほか、地域経済発展の契機となる道の駅の整備、工業系新市街地の整備に向けた取り組みを実施し、都市機能の強化を図ります。

②産業の活性化

市内中小企業の経営力強化と労働生産性の向上に向け、IoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)システムの導入に対する支援を行います。耕作放棄地減少へ向けた取り組みや、事業者の魅力ある商品等販売促進への支援、広域連携によるツーリズムの推進など、農業、商業、観光の活性化を図ります。

③地域福祉社会の実現

元気な高齢者を増やし、生き生きとした生活を送れる場と機会を提供するとともに、要介護状態となっても住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援を実施します。

住民参加型の移動支援団体への活

動支援を行うことで、地域住民の移動の利便性向上を図ります。

④子ども・女性政策

仕事と子育ての両立を図るため、小規模保育施設の新設や、幼稚園の2歳児預かり保育を促進するとともに、病児保育事業を実施します。

小・中学校9年間の学びと育ちの連続性を確保し、必要な資質・能力の育成を図るため、1中学校区において、綾瀬市型小中一貫教育を試行します。

⑤都市の質の向上

安全安心な市民生活を確保するため、マンホールトイレや被災状況確認用ドローンを導入するほか、災害対策用井戸の活用などを実施します。

外国人市民の自立、活躍へ向けた支援や、環境負荷軽減の取り組み、あやせっ子曰米交流事業などを実施し、都市の質を向上させます。



各会計の予算規模

一般会計と5特別会計などの予算総額は493億7千万円で、前年度に比べ1億円(0.2%)減少し、そのうち一般会計は293億4千万円で、消防本部庁舎建設事業の完了などにより8億円(2.7%)減少しています。

特別会計などは5会計全体で200億3千万円、前年度に比べ7億円(3.6%)増加しています。国民健康保険事業で減となる一方、下水道事業では、地方公営企業法適用により公共下水道事業会計へと移行し、発生主義に基づく収益・費用を新たに計上したことから、予算規模が増加しています。

| 会計名 | 令和2年度 | 対前年度比 | | |
|---------|----------------|------------|-------------|--------|
| | | 増減額 | 増減率 | |
| 一般会計 | 293億4,000万円 | △8億円 | △2.7% | |
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 87億1,000万円 | △2億5,800万円 | △2.9% |
| | 下水道事業 | - | △36億6,500万円 | 皆減 |
| | 深谷中央特定土地区画整理事業 | 2億1,500万円 | △5,600万円 | △20.7% |
| | 介護保険事業 | 55億8,100万円 | 2億4,900万円 | 4.7% |
| | 後期高齢者医療事業 | 12億1,500万円 | 1億1,100万円 | 10.1% |
| 公営企業会計 | 43億1,076万円 | 43億1,076万円 | 皆増 | |
| 公共下水道事業 | | | | |
| 合計 | 493億7,176万円 | △1億824万円 | △0.2% | |

一般会計のグラフ

